

平成 31 年度第 2 回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 令和 2 年 1 月 30 日（木）午後 3 時 30 分から 4 時 45 分まで
2. 開催場所 文化センター応接室
3. 出席者 委員 松上委員 森委員長、多賀委員、野崎委員、浅野委員
事務局 石田文化センター長、岸下主査補 長谷川主任主事
4. 欠席者 上田委員
5. 傍聴者 1 名
6. 議題
 - ①平成 31 年度事業実施経過について (公 開)
 - ②令和 2 年度事業計画について (公 開)
 - ③プラネタリウム運営方法について (公 開)
 - ④学習指導要領改訂に伴う学習投映について (公 開)
 - ⑤その他 (公 開)
7. 配布資料 資料①平成 31 年度・30 年度の 1 月までの来館者累計比較表
資料②令和 2 (2020) 年度事業計画
資料③行政経営改革実施計画 公の施設の運営方法の検討
資料④学習投映の流れ表
資料⑤教育大綱 施策の体系
8. 会議での確認・承認事項
 - ①平成 31 年度事業経過、及び令和 2 年度事業計画について
 - ②プラネタリウム館運営方法について
 - ③学習投映の流れについて
9. 議 事 以下のとおり

事務局

石田センター挨拶の後、森会長の司会により、会議を進める。

平成 31 年事業を事業計画に沿い、順調に行っている。事業内容は前年度とほぼ同じであるが、12 月までの来館者と歳入を、前年度と比較すると、来館者は約 2500 人、歳入は約 47 万円の減である。(資料①参照)

事業ごとに見ると、来館者数が大きく減ったのは、一般投映 853 人、星を見る会 571 人、学習投映 240 人である。前年度は火星大接近、クラウドファンディングに挑戦と、プラネタリウムが注目を集めることが多く、リニューアルオープンに次ぐ歴代 2 位の来館者数であったが、今年度の来館者数の減少は、昨年度の反動もあるかもしれない。学習投映は、来館校はほぼ同じなので、来観者数の減は、子どもの数の減少によるものである。

●●委員	今年度は、アポロ月面着陸 50 周年という宇宙開発にとって、大きな記念すべき年であったが、それで人を呼び込むことはできなかったのか。
事務局	月をテーマにした番組や講座は行ったが、火星程の注目はなかった。
●●委員	10 月から消費税率の変更により、観覧料が上がったが、影響はあるか。
事務局	特に影響はない。料金が上がることにより、来観者数が減った様子はない。今年度から、身体・精神障害者手帳の提示により一般投映が本人及び介護者が無料となり、そのことにより歳入は、5 万円程減少した。
●●委員	手帳提示による無料化により、来館者数は増えたのか。
事務局	イベント投映を観覧に来たが、一般投映ではないので、手帳の提示で無料にならなかったため、そのまま帰ってしまった方がいた。一般投映を、手帳を使って無料で観覧したのは 190 人。まだ動向がつかめない。
●●委員	平成 31 年度事業について、他に意見、質問はないか。 では、令和 2 年度事業計画について説明をお願いします。
事務局	<p>資料②「令和 2(2020)年度事業計画」参照</p> <p>令和 2 年度は火星準接近、惑星の会合が注目を集める年なので、番組や講座のテーマを「惑星」に据えた。</p> <p>事業は今年度とほぼ同様であるが、現状を踏まえ、一般投映、プラチナアワーの内容、投映日程の調整を行った。(一般番組 4 本を 13 時 30 分と 15 時の回共通とした。プラチナアワーは、同じ内容で週 2 回行っていた投映を、同じ内容で 2 月に分けて、月各 1 回、全 2 回行うことにした)</p> <p>新しい試みとして、祝日の 13:30 の投映を、小さな子ども連れでも気兼ねなく一般投映に入ることができる時間とした。ネーミングは「お互い様タイム」である。</p> <p>大きなイベントは、5 月に JAXA と共催で「はやぶさ 2」の講演会を大ホールで行う予定。定員 600 人。対象小学生以上で、ハガキで事前申し込み。</p> <p>料金については、ライブコンサートの料金 700 円、前売り 600 円を、共に 100 ずつ値上げ、当日券 800 円、前売り券 700 円としたい。</p> <p>また、職員 1 名が再任用となり出勤日数が減ったことを踏まえ、週 1 日程度の会計年度任用職員(事務員) 1 名を新たに採用する予定。</p>
●●委員	前回、地域新聞にライブコンサートの記事が載った時、チケットが完売と

	<p>なったが、広告料と、歳入の割合はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>予算に広告料はないので、掲載は無料のものに限る。掲載されるかどうかは、情報をのせてくれる相手次第。</p>
●●委員	<p>講演会の参加募集は、ハガキのみの受付か。メールでの募集はないか。</p>
事務局	<p>ハガキのみで募集である。</p>
●●委員	<p>ハガキ代が値上がっているのので、ハガキのみだと申込者が少なくなる可能性がある。メールでの申し込みが可能であれば、検討したほうが良い。電話は書き間違いや受付に時間がかかるのでやめたほうが良い。</p>
●●委員	<p>サイエンスの会は、ホームページに申し込み覧をつくり、そこから全てメールで申し込んでもらっている。特に問題が起きたことはない。</p>
事務局	<p>可能かどうかも含め、検討する。 (検討後、メール申し込みも可とした。ただし、募集期間後半に、サーバー交換の時期が重なり、メールが使えなくなるため、メール申し込み期間は、短縮した)</p>
●●委員	<p>令和2年度事業について、他に意見、質問はないか。 では、次の議題プラネタリウムの運営方法について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料③行政経営改革実施計画 公の施設の運営方法の検討 参照 プラネタリウム運営を外部に委託した時いくらになるのか、実績のある業者2社に見積もりを依頼した。(2025年までの機器リース料は含まれていない。) (株)五藤光学研究所は、委託業務を現在受け付けていないため「指定管理業務」の見積もりで、36,747,700円となった。五藤光学は、現在白井が導入している光学式投映機の製造会社であり、指定管理を受けた場合、機器のメンテナンスは自社で行うことができる。 (株)東急コミュニティは白井の現状を見て、「委託業務」の見積もりで、24,738,560円となった。委託業務なので、ここに、白井の職員1名の人件費(とりあえず800万円とする)と保守点検料995,000円が追加されることになるので、実質33,733,560円となる。 白井の現状は、2020年度のプラネタリウム運営事業費13,065,000円から機器リース代6,701,000円/年を引くと、6,364,000円。ここに職員2名分の人</p>

	<p>件費 800 万×2 人を追加すると、22,364,000 円となる。 皆様のご意見を願います。</p>
●●委員	<p>指定管理業務と、委託業務の違いはなにか。</p>
事務局	<p>指定管理は、器ごと中身も含めて委託するが、委託業務は、このようなことをやってくださいと、こちらがお願いしたことを、委託して業務を行ってもらおう。</p>
●●委員	<p>図書館や会館は含めず、プラネタリウム館のみの業務委託か。</p>
事務局	<p>そうである。</p>
●●委員	<p>金額以外のことで、委託と直営の館を見て感じたのは、直営の館の方が風通しがよいことである。例えば、突発的に、何か、あれをしよう、これをしようといった時に、反対されずにすぐ実行できるのは直営館である。委託だと、実行するまでに、やりとりが多く、結局やりたかったけどできなかったという話を耳にする。</p>
●●委員	<p>直営館のデメリットは、人材、専門職がなかなか取れないこと。 今回の委託の検討は経費削減が目的か。金額だけだったら、直営が一番安い。 今後、白井市は、すべての施設を委託にしていこうという計画があるのか。</p>
事務局	<p>現在、公民館は 1 館を除き、指定管理である。文化センターについては、現在 4 館とも直営だが、そのありかたについて検討しているところ。図書館は現状のまま直営で進む方向。文化会館はまだ協議をしていない。郷土資料館は資料館という性質上、直営の方向が決まっており、検討の指示は出されていない。プラネタリウムについては、ありかたについて検討する中で、どういう方向がよいのか協議会でご意見をいただき、直営が良いという事であれば、上に提案し、判断される材料になる。職員の配属についても、このあり方の検討結果により変わってくると思われる。</p>
事務局	<p>お金の面を見たら、直営がもっとも良いのがわかる。教育の面でも指定管理になると、がらっと内容が変わる。他館の状況を見てみると、指定管理を受けた業者が、以前からいた職員を吸い上げて雇用することもあるが、そうでない場合、その時事業を受けた業者により、内容が大きく変化する。教育は、継続が重要であるが、業者が入ることで蓄積がゼロになるのを見ると、他館のことながら不安を感じる。</p>

●●委員	<p>以前勤めていたところについて参考にお話しする。そこは、プラネタリウムと歴史の博物館で、職員は天文の資料を集め調査も行ってた。しかし、プラネタリウムが老朽化した時、科学館として独立することになり、博物館は直営、科学館は指定管理となった。その時の感想として、博物館は調査や資料の管理などの関係で直営でないが無理だが、プラネタリウムは、人材的な面でいう指定管理にして良かったと思う。それは、当時小規模な館だったので、専門職員1名と、行政職員1名の2名で業務を行っていたが、天文への興味関心が全くなく、生解説に不向きな職員が異動で配属されることもあった。それを考えると、専門職をとるという点では、指定管理になると好きな方たち、プラネタリウムの専門方が従事してくれることになるので、良かったと思う。</p>
●●委員	<p>直営館の職員の立場でいうと、直営だと、学校とのつながりや、市民とのつながりがあるが、指定管理だと人が変わるので、顔が見えなくなってくる。なので、今までだったら、〇〇さんがいるからちょっと頼もうという事が言いつらくなる。例えば、学習投映では、昨年こんな事をしてくれたから、今年もお願いしますというような結び付きが少なくなるのではないかな。</p>
●●委員	<p>業者を選ぶ時に、条件を付けると良い。例えば、事業を行う時は、市内の団体の〇%使うとし、その団体に継続的に事業を手伝ってもらおう。ちばサイエンスの会では科学館の事業を少々委託しているが、これは科学館と市が交わした条件による。このように市の団体に事業を手伝ってもらい、つながりを残すと良い。</p>
事務局	<p>専門職員の配属が問題になっているが、川口市や平塚市は直営で、必ず学芸員を採用している。東大和市は、一般職員で採用し、学芸員資格を持っている者がプラネタリウムに配属となり、現在異動なく勤務している。明確な方針を出していない白井では、今いる職員の代わりに、東大和の様に、学芸員資格保有者に一般職試験で採用してもらい、プラネタリウムに配属するという方法が考えられるが、市の数年ごとで職員を異動させるという考えだと、プラネタリウム配属という保証ができず、専門職の確保ができない。新たな職員を入れる場合、ある一定の引継ぎ期間が必要であるが、市の状況を見ると、今いる再任用職員が1名抜けた時に補充という考えなのか。プラネタリウムの今後のありかたにより、採用の方向性が決まると思うが、人の配置については、早急に検討すべきことである。</p>
●●委員	<p>業者も異動がないかといえ、そうではなく、例えば、白井で委託を請け負</p>

	うと決定した時点で、採用をかけ、配属が決まる場合がある。なので、最初からベテランがくる思わない方がよい。
事務局	話が変わるが、千葉市が持っている天文資料は現在、どのようになっているのか。科学館が指定管理になったが、活用されているのか。
●●委員	博物館にあり、申請書をだせば貸し出しもする。しかし、科学館に展示施設がないので、あまり展示はしていない。貸し出す条件に湿度や照明等があるので、科学館は展示に向いていない。千葉市以外にも貸し出しているので、白井でもまた活用してほしい。
●●委員	一個人として、野崎委員の考えに賛同する。白井の職員の生解説は魅力であるし、健康課や図書館との連携も直営だからこそできると思う。それが委託になると、どれ程残せるのか疑問に思う。
●●委員	委託条件に、経験年数や生解説をつければよいのでは。
事務局	そうすると、また委託金額が上がると思う。
●●委員	結局、今の直営が一番安い。
事務局	現在プラネタリウム職員 2 名は、ほぼ異動がないが、これは異例なことである。今回、直営で今のまま続けるのが良いという結論ができれば、職員の配属についてもそれを踏まえ、市で検討していくことになる。 直営、委託、指定について、メリット、デメリットを踏まえ、委託・指定管理が良いと言え、予算をつける方向で進む。委員の皆様のご意見をまとめていただきたい。
●●委員	一番のネックは人的な事。
●●委員	一長一短があるが。
●●委員	民間企業でいえば、委託というのは、これだけのことをしてくださいといわれたら、そのことだけを委託期間に行う。改善等は考えないというのが一般的。今回の話も直営が良いと思っていたが、単純ではなかった。しかし、基本的に、外部委託すると、変化するのが難しい。例えば最初の話で、昨年にくらべ、今年来館者が減ったので何とかしたいといった時に、外部に委託した時は、すぐ行動するのが難しい。直営だと、職員が一生懸命考え、行動するこ

	とができるので、直営を望む。
事務局	同じ事をしているだけでは、来館者は増えないのは、確かである。また、直営館であれば、職員は白井市の職員として、市のアピールに勤める宣伝マンともなるが、委託の場合は、そこで働く者はあくまで委託会社の職員である。
●●委員	委託の場合、市の職員が1名配置になるが、その職員は何をするのか。
事務局	市との行政的な連絡、書類作成等の事務がメインになると思う。
●●委員	来館者の動向の分析を行うのは、直営でないとできないのではないかな。
●●委員	直営となった場合、人はきちんと配置してもらえるのか。
事務局	話し合いの土台にはなると思う。
●●委員	全体的に、直営がいいという考えだがどうか。
●●委員	今までの話し合いにおいても、直営の方が良いという意見が強かった。結局、人の配置の件が問題であり、この検討結果が、それを考えるきっかけとなればよい。今回、直営が良いという意見でまとめてよいのではないかな。
●●委員	では、今回協議会として、メリット、デメリットの意見も踏まえ、「直営」が望ましいという意見で報告を上げてもらってよろしいかな。
一同	賛成
●●委員	では、次の学習指導要領改訂に伴う、学習投映についてお願いする。
事務局	<p>来年、小学校の学習指導要領が変わる。白井は大日本図書の教科書を使用する。内容を確認したところ、4年生の内容が大分変わっていた。ちなみに中学校の変更は再来年度となるので、今回は、小学校4年生と6年生の流れを案として出すので、確認してほしい。</p> <p>大きく変わった点は、今まで月、星、太陽の「動き」だったが、それが月、星、太陽の「位置変化」となった。</p> <p>夏の星の学習では、さそり座の「アンタレス」が動きの目印になっていたが、より明るく、高い位置にある、うしかい座の「アルクトゥルス」が目印となり、実情に即したものとなった。</p>

<p>●●委員</p> <p>事務局</p> <p>森委員</p>	<p>秋は、月の学習に、夏の大三角はくちょう座から、星の位置変化を確認する内容が加わった。冬は、いままで通り。</p> <p>つまり、大日本図書教科書は、今まで冬に重点を置いていたが、秋に重点を置くようになった。白井の小学校は夏、秋、冬と3回来館するので良いのだが、他市町村で、年1回だけ来館する学校は、秋バージョンの内容を見ていただくことになる。</p> <p>年間計画表で変更箇所は確認しているが、プラネタリウムで毎回、大事なポイントをおさえてくれるので、授業の柱、サポートとして大変助かっている。今回もすでに準備をしていただき、来年度も引き続きお願いしたい。</p> <p>何か意見はあるか。ではその他、あったら願います。</p> <p>資料⑤教育大綱 施策の体系 を参照</p> <p>前回、簡単にお話しした「教育振興基本計画」を作成している件だが、現在プラネタリウムが体系表のどの位置にあるかのみご確認いただきたい。次回の会議に「施策と課題」について、その内容について検討していただくこととなる。</p> <p>なにか他にあるか。</p> <p>では、これで平成31年度第2回目のプラネタリウム館運営協議会を終了する。</p> <p>以上</p>
-----------------------------------	--